

魅力あふれる持続可能なまちづくりの推進

大和ハウスリアルティマネジメント(株)と包括連携協定



▲さまざまな分野での連携を進める

3月19日、市は「アクロスモール春日」の管理・運営をしている同社と包括連携協定を締結しました。地域産業などの振興、都市機能の向上、子育てや青少年健全育成の支援など、多岐に渡る分野で連携し、市民サービスの一層の向上を図ります。

同社の伊藤光博社長は「地域の皆さんとともに、魅力あふれる持続可能なまちづくりを進めていきたい」と述べました。

福岡女学院中学・高等学校バトン・カラーガード部

全国大会で最優秀賞受賞



▲晴れやかな表情で受賞を報告

3月13日、同部の生徒が、井上市長を訪問。群馬県で開催された第9回カラーガード・マーチングパーカッション全国大会で金賞と初の最優秀賞を受賞したことを報告しました。

部長の高木姫依さんは「力を発揮するためには、集中して心を一つにすることが大事」と語り、市長は「大変感動した。この経験を大きな自信につなげて頑張ってください」と述べました。

市社会福祉協議会に25回目の贈呈

陸上自衛隊福岡駐屯地曹友会



▲福祉の推進のために寄付を続ける

3月25日、市の立ち会いの下、陸上自衛隊福岡駐屯地曹友会が、市社会福祉協議会に車いす1台と寄付金を贈呈しました。今年で25年目となった取り組みです。

同会の富岡哲也会長は「今後も支援を続けていきたい」と意欲を語り、同協議会の廣田茂忠会長は「25年も続けていただき本当にありがたい」と感謝を述べました。

白水大池公園星の館

来館者数20万人達成



▲記念のインタビューを受ける大下田さん(右)

3月20日、同館の来館者数が延べ20万人に達しました。平成23年4月1日の開館からおよそ15年、観望会やイベントなどで多くの人が訪れています。

20万人目の来館者となったのは、大下田礼さん(大野城市立月の浦小学校4年)。記念のくす玉が割られ、双眼鏡などが贈呈されました。また、同館スタッフなどがクラッカーなどを用意し、盛大な拍手で節目を祝いました。

明るい選挙の実現に貢献

福岡女学院大学が総務大臣表彰



▲^{ふじむら}藤村まこと准教授(右)と学生たち

令和7年7月に行われた第27回参議院議員通常選挙における選挙啓発活動が評価され、同大学人間関係学部心理学科が総務大臣表彰を受け、3月26日、市役所において、市選挙管理委員会から表彰状を伝達されました。

市に表彰を報告した学生たちは「周りへの啓発だけでなく、自分たち自身も選挙についての考えが深まり、貴重な経験だった」と振り返りました。

春日の歴史と文化財を網羅

ふるさと文化誌『かすが奴国物語』完成



書籍を手渡す同連合会の古賀^{こが}透^{とほる}常任理事(左)

3月26日、県文化団体連合会から市へ、同書籍250冊が寄贈されました。これは、地域文化の振興に寄与することを目的に、同連合会と市や文化財に関する市民団体などが約1年をかけて協働で作成したものです。古代から現代に至るまでの市の歴史を、写真やコラムとともに幅広く紹介しています。

寄贈された書籍は、市民図書館、小・中学校、自治会などに順次配付されます。

古墳時代にタイムトラベル

日拝塚古墳の石室を一般公開



▲2メートルを超える巨石が使われた石室内部

3月29日、国指定史跡日拝塚古墳(6世紀中ごろの前方後円墳)の石室を1日限定で公開しました。

普段は入ることができない石室内部を見学できる貴重な機会。120人以上が訪れ、市職員の解説に耳を傾けました。内部には高さ4メートルの空間があり、参加者は石が丁寧に積み上げられた様子を間近に見ながら、当時の高度な技術とひんやりとした石室内の空気を体感しました。

★表紙関連

ずらりと並ぶ新幹線を一望

春日西多目的広場公園の展望施設が完成



▲博多総合車両所に並ぶ新幹線を見下ろす

3月27日、同公園の西側エリアおよび「新幹線の見える丘」の展望施設の完成式典を行い、供用を開始しました。歩道のカラー舗装やベンチなど、あちらこちらに新幹線をデザインしています。

初日から親子連れなど多くの方が訪れ、ずらりと並ぶ新幹線を眺めながら、新幹線モチーフがいっぱいの公園をワクワクと楽しんでいました。

※公園全体の完成は、令和9年3月の予定です。